



西林寺境内 桜景色



西林寺だより

発行元
西林寺門徒総代会
広島県安芸郡坂町
坂東3-14-17
(082)885-0018
iタウンページ
西林寺

杖のことば
生まれた意義と
生きる喜びを
見つけよう

普庵勧学と大瀛和上(4)

嗣法として西林寺に入寺した普庵は、大瀛に深い信頼を寄せられ、三業惑乱騒動の中、常に大瀛と行動を共にしました。大瀛が古義派の代表として京都所司代に出廷の命を受けたときには、同門の道振・道岳と共に上洛し、江戸の寺社奉行所に出廷したときは、実乗が京都から同行しましたが、二度とも付き添うのは普庵だけでした。

尋問が始まると、病身の大瀛の給仕に心を尽くすと同時に、学説補佐の大任も務め、大瀛が介護を要することから法廷に陪席することを許され、病状の悪化に伴い、大瀛に代わって弁論することも許されました。そして、大瀛の逝去にあたっては、その後始末の一切を執り行い、実乗と共に遺骨を抱えて帰国されました。時に29歳でした。

三業惑乱採決後も、しばらくは騒動の後始末としての執筆に精進され、それが一段落した37歳の頃、当山の第8世住職を継職されました。



普庵筆 三業惑乱の関連本

お知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡散防止のための十分な対策がとれないことを勘案し、参加者の健康を第一に考えた結果、次の行事を延期もしくは中止することになりました。心待ちに予定していただいた皆さまには、大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解ご了承の程、お願い申し上げます。また、延期の行事におきましては、日程が決まり次第、お知らせいたします。

〓延期行事〓

〓3月28・29日(土・日)

本願寺専如門主法統継承及び
西林寺客殿修復落成慶讃法要
(掃敬式・稚児行列)

〓3月7日(土)

仏教壮年会結成50周年
記念式典・祝賀会

〓中止行事〓

〓3月19〓21日(木〓土)

春季彼岸会 講師 朝枝 暁範師

〓3月2〓3日(月〓火)

仏教婦人会念仏奉仕団上山

〓4月3日(金)

花まつり

消火訓練

1月26日は「文化財防火デー」です。これは昭和26年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺金堂が焼損したこと、そして1月と2月が最も火災が発生しやすい時期であることから、1月26日を中心に文化財防火運動が始まりました。

坂町指定文化財を有する西林寺でも、1月24日(金)の仏教婦人会の月例会の後、門徒総代と仏教壮年会の有志に住職・法務員も参加して、境内で消火訓練を行いました。

安芸消防署の指導のもと、火災に対する日々の心がけや初期消火時の消火器の使用方法、そして火事を消防署に通報し、周囲に大声で知らせることの重要性等、多岐にわたり指導いただきました。

西林寺内の消火器の設置場所は次の通りとなります。

- 〇本堂外陣左前
- 〇本堂外陣右前
- 〇本堂後堂中央
- 〇門信徒会館舞台左端
- 〇門信徒会館厨房内
- 〇渡り廊下中央
- 〇一階トイレ前通路



法座案内

春季永代経法座
四月 十六日(木) 昼席より
十八日(土) 朝席まで
講師 北九州市小倉
香川孝志 師

宗祖降誕会
五月 二十日(水) 昼席より
二十二日(金) 朝席まで
講師 福岡県行橋市
善照寺 高岡昭信 師

朝席7:00〓 昼席13:15〓 夜席19:30〓

編集後記

新型コロナウイルス感染症の拡散防止のため、心待ちにしていた多くの行事が中止もしくは延期となりました。

予防薬も治療薬もなく、出口の見えない不安に、何でも思い通りになるくらいに思う日常の人の浅はかさをただただ顧みることです。

早期の終息と、感染された皆さまの1日も早い回復を願わずにはいられません。

聞思録(もんしりく)

4月8日はお釈迦さまの誕生日で、各地でお釈迦さまの誕生を祝う「花まつり」が行われます。お釈迦さまは今から約2500年前、インド北部(現在のネパール)の釈迦族の王子として誕生しました。幼少より何不自由のない暮らしを送っていましたが、いつしか「老・病・死」という誰もが避けて通ることのできない人生の根本問題に深く思い悩むようになり、29歳の時、王子としての地位も立場も捨て、「老・病・死」を超える道を探り、修行し、さとりを開かれました。

「生まれた意義と生きる喜びを見つけよう」という「杖のこぼれ」は、東本願寺の親鸞聖人御誕生800年・立教開宗750年慶讃法要(昭和48年)のスローガンですが、人間に生れた意義と生きる喜びが誰にでもあるということを示すために「老・病・死」という事実です。人間に生まれ、さまざまな関わりをもちながら生活し、やがて老い、病んで、死してゆかねばならない、このいのちをどう生きてゆけば、それらに煩わされない、満ちたりた歩みとなるのでしょうか。そのような、生の依りどころ、死して帰るところを求め、そこに確かな道筋を示してくださいましたのがお釈迦さまなのです。善導大師の言葉に「すでに身を受けんと欲

するに、みづからの業識をもって内因となし、父母の精血をもって外縁となして、因縁和合するがゆゑにこの身あり」とあります。

「人はこの世に生まれ出ようとする時、自分の意志で生まれるか、父と母になる人を縁として誕生する。自分の意志が根本にあり、両親はきっかけにすぎない」ということです。どのような境遇にあらうとも、自分の人生を自分の責任において生きてゆかねばならないという教示であり、仏さまの教えに照らされて気づかされた受け止めといえます。私たちは人間という得難い「いのち」を恵まれましたが、本当に「人間といういのち」を生きていると言えるでしょうか。お釈迦さまが誕生時に「天上天下唯我独尊」とおっしゃったのは、「人間といういのち」を生きたら、人間としての責任主体を明かにすることによって気づかされる「いのちの尊厳」への問いかけです。このことに真摯に向き合ってゆかれたのが親鸞聖人であり、本願念仏の歴史です。私たちの先祖も人生のそれぞれの場面で仏さまにそのことを問い尋ねてゆかれたのです。その場その場の自分の思いに縛られ、振り回されるばかりの人生は、結局空しいものでしかありません。自らの人生を「何を依りどころに」生きてゆくのか。生きることはそれだけで価値のあることだということに目覚めるご縁こそが、仏さまのお言葉です。

ダーナ募金

「ダーナ」はインドから東は日本、西は西洋まで伝わった仏教由来の言葉です。それは自分と他者を分け隔てず、他者を思いやり、執着の心を離れる仏道修行の大切な眼目です。中国で「檀那」と音写され、日本に伝わり、西洋ではラテン語でドーナム(贈り物)となり、英語ではドナーやドネーションとなりました。檀那もドナーも、自分にとって最も大切なものを人に施すという行為で、人によってはそれが金銭であったり、自分の臓器である場合もあるということでしょう。他者に施すという、そうした深い心を育てる精神は民族を超えた普遍的な行為といえます。

浄土真宗では毎年2月の第2日曜日を「ダーナの日」と定め、全国の仏教婦人会が足並みをそろえて、募金活動をしています。

西林寺・宝海寺・西昭寺の各仏教婦人会でも、ダーナ募金を呼び掛け、安芸北組や坂町ワイワイハウス、坂町社会福祉協議会、そして災害義捐金として、寄付させていただきます。

この主旨にご賛同ご協力をよろしくお願いします。



坂町社会福祉協議会にて

仏教婦人会 あれこれ

御正忌報恩講

1月15日(水)から17日(金)まで、ご講師に西昭寺住職河野法誓師をお迎えして勤められました。15日夜席と16日昼席では当山住職による「御伝鈔」の拝読があり、宗祖親鸞聖人が小豆が好きだったことから「せんざい」がふるまわれました。



仏教壮年会 あれこれ

新年互礼会

1月10日(金)住職をお迎えして、新年互礼会をしました。今年度の仏教壮年会結成50周年事業もあと少しとなりました。今年開催予定の記念式典及び祝賀会を会員一同一致協力して成功することを申し合わせました。

研修会

1月25日(土)安芸教区仏教壮年会連盟の研修会が広島別院で開催され、2名参加しました。テーマは「ともに聞き、まことのよこびを伝えよう」でした。ご講師は福岡教区志摩組海徳寺前住職の松月博宣師で、講題「朋友の輪を拓げよう」を聴聞しました。2月6日(木)には安芸北組の研修会が西昭寺で開催され、9名が参加しました。ご講師は佐伯奥組最禅寺ご住職の米田順昭師で、講題「阿弥陀さまが一緒です」を聴聞しました。



仏教壮年会行事予定

四月五日(日) 15時から
総会
六月 初旬
松の木剪定



煤払いとおみがき

年末年始と報恩講前には、法務員の皆さまに指導をいただきながら、仏教婦人会と合同で行っています。

煤払いは年一度なので、隅々まで丁寧にを行いました。

永代合同墓「樹心廟」のご案内

4月に完成予定の納骨段併設型合同墓「樹心廟」は、行政の認可待ちです。完成は少し遅れて5月末から6月になりそうです。追って、ご案内いたしますので、もうしばらくお待ちください。

初参式のご案内

5月21日(木)、合同初参式を開催します。恵まれたいのちを喜び、阿弥陀さまに奉告しましょう。詳細は別紙を参照ください。

四月二十二日(水) 13時から
総会・追弔法要
五月二十一日(木) 11時から
合同初参式
降誕会祝賀
アトラクション